

# 極意伝承！ 第三項

機能訓練が苦手なりハビリ職員ほど  
シーティングは上手いく！  
利用者の座位が崩れたら  
『1000%〇〇のせい』にすべし！

……ここで、ちょっと<座位クイズ>にお付き合いくださいませ。

A利用者 + 車イス = 座位が崩れない  
B利用者 + 車イス = 座位が崩れない  
C利用者 + 車イス = 座位が崩れない  
D利用者 + 車イス = 座位が崩れない  
E利用者 + 車イス = 座位が崩れる

ABCD利用者は、車イスに座っても座位が崩れません。  
しかし、E利用者だけは、なぜか車イスに座ると座位が崩れます。

……はてさて、なんでだと思いますか？

実はシーティングで成果を出せない方は  
『E利用者がわるい』と考えがちです。

E利用者に対して色んな評価をして、  
座位が崩れる何らかの問題点を見つけて、  
利用者が変われば座れるようになると考えます。

現場で、この考え方で頑張ってる方にお聞きします。  
「利用者さん、本当に座れるようになりました？」

……たぶん、あまり上手くいってないんじゃないですか？  
だからあなたは、ぼくの資料を本気で見てくれてるんじゃないですか。

大丈夫ですよ。  
あなたは必ず、必ずです。その方の座位を整えられるようになります。  
ぼくはそのためにこの資料をつくったんですから。

先程のクイズ、  
シーティングで成果を出せる方は『車イスがわるい』と考えます。  
しかも、1000%そう考えてます。

0.01%も1mmたりとも、座位が崩れる理由を『利用者のせい』にしません。  
利用者の座位の崩れを見るたび「あ、車イスがわるい！」とだけ考えます。

「機能訓練しよう」なんて微塵も考えず、  
最初から最後までひたすら『車イスのせい』にします。  
利用者の座位を整えるために、徹底的に車イスをいじって座りやすくします。

「え！？本当にそんなんでも上手いくの？」

はい、あなたが半信半疑なのはわかります。  
ぼくも車イスをいじるだけでいいなんて、当時だったら到底受け入れられません。

でも、これで本当に成果が出ちゃうんですよ。  
目の前で起きた事実を、座れるようになった方々の姿を、  
信じないわけにはいかないじゃないですか。

ぼくが散々悩んできて、色々チャレンジして、何度も何度も何度も失敗して、  
ようやくたどり着いた【答え】がこれなんです。→つづく